

**ドローン宅配構想の実現に向けた実証実験を実施します！**  
**～運航管理システムを活用した2機体往復飛行を実施！～**

千葉市では、配達時間の短縮等による利便性の向上や、物流業界が抱える人手不足、ラストワンマイルの問題、配送コストの削減等の課題解決を目的として、都市部におけるドローンを活用した宅配サービスの実現を目指し、平成28年から各種実証実験を行っています。

このたび、各関係機関のご協力のもと、東京湾臨海部の物流倉庫から幕張新都心内へ、ドローンで荷物配送を行う実証実験を実施しますので、お知らせします。

## 1 実証実験の概要

今回の実証実験では、複数のドローンが飛び交う社会を想定し、衝突等を回避するなど、安全な空域の活用を検証するため、飛行状況等を管理する運航管理サービスシステム「C.O.S.M.O.S（コスモス）」を活用し、国産のドローン2機による往復飛行実証実験を行います。

### (1) 実施期間

令和4年12月20日（火）～22日（木）

（予備日：令和4年12月23日（金））

### (2) 飛行区間

船橋ロジスティクスセンター1 → 若葉3丁目公園（美浜区若葉3丁目1番15）



### (3) 実施主体

株式会社 A. L. I. Technologies

### (4) 配送物

クリスマス時の消費者向け配送を想定した玩具などの小物類（1～2kg程度）

## 2 取材について

令和4年12月22日(木)10:30~12:00に、若葉3丁目公園にて離着陸の様子や運行管理システムの運用状況などを公開します。

取材希望の方は、12月19日(月)17:00までに国家戦略特区推進課まで別紙にてメール(tokku.POF@city.chiba.lg.jp)でお申し込みください。

なお、若葉3丁目公園に車で来場する場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

※悪天候の場合は、12月23日(金)に延期します(詳細は取材申込された方にご連絡します)。

## 3 経緯

### (1) 千葉市ドローン宅配構想について

市川市などの東京湾臨海部の物流倉庫から幕張新都心まで東京湾上空飛行を行い、海上から花見川を遡上し、若葉住宅地区のマンションへ宅配を行う構想。

### (2) これまでの実証実験について

国・民間企業・本市による「ドローン宅配等分科会」および「技術検討会」を設置し、ドローン宅配実現に向けた実証実験に関する協議等を行っている。

実証実験は平成28年から開始。概要は以下のとおり。

### <千葉市ドローン宅配構想のルート及びこれまでの実証実験概要>



- ①2016.4 自律飛行での物資搬送実証実験@幕張新都心※目視内
- ②2016.11 アプリによる注文、LTE遠隔制御、海上飛行実証実験@稲毛海浜公園※目視内
- ③2017.6 海上飛行実証実験(往復12km)※目視内
- ④2018.9 物流倉庫での非GPS-GPS切替実証実験@千葉地方卸売市場
- ⑤2018.10 ドローンとUGVによるマンション住戸までの個宅配送実証実験
- ⑥2020.2 レベル3での東京湾上空実証実験(片道約6km)※目視外、補助者なし
- ⑦2021.2 花見川上空飛行実証実験(道路・鉄道橋横断)※目視内
- ⑧2021.12 市川物流倉庫から超高層マンション屋上までの長距離配送実証実験

<参考>

1 使用機体の概要 (株式会社エアロジーラボ社製)



- ・機体サイズ 1280×840mm
- ・飛行時間 140分 (ペイロードなし)  
60分 (ペイロード3kg)
- ・飛行速度 70km/h  
(今回は36km/hで飛行予定)
- ・耐風性能 15m/s

2 運航管理サービスシステム「C.O.S.M.O.S (コスモス)」の概要

C.O.S.M.O.S. は UAV (無人航空機) の自動運用の原則となる、機体の健全性、運用の確実性、周辺と運用者の安全性をより確実に計画・監視・管理することを可能にするためのドローンを含む UAV 並びにエアーマビリティのプラットフォーム技術です。国交省が定めるドローン情報基盤システム (DIPS) や運航管理統合機能 (FIMS) とともにシームレスに接続しながら、「空間管理」と「飛行管理」の両方を実現します。機体の登録情報や飛行状況をリアルタイムで可視化し、空中での機体の異常接近の回避や、遠隔操作によるオペレーションのバックアップなどを行うことでドローンの飛行をより安心・安全なものとし、ドローンの社会実装のスピードを加速させます。